

# 2019 5月 スクールホットライン

## 地域社会と連携して 取り組む環境美化教育

from 新栄小学校

新栄小学校は、昨年度「環境美化教育優良校等表彰事業」で、「優良校・協会会長賞」を受賞しました。

2月18日の伝達式では、食品容器環境美化協会からPTA会長と児童会長に表彰状が手渡されました。資源回収、地域清掃、大山川の水生生物調査などの活動を地道に進めてきたことが、表彰につながりました。

資源回収は、昭和56年開校10周年の年、リサイクルへの関心の高まりを受けて、PTA活動の一環として始まりました。回収日には、児童と保護者が力を合わせて回収作業をしています。

地域清掃は、昭和63年、PTA活動の研究をきっかけに、日頃お世話になっている地域の公園を親子で清掃する活動として始まりました。

どちらの活動も、よりよい環境作りへの関心を高めるとともに、親子のふれあい活動としても意義のある活動となっています。また、資源回収の収益金は、親子ふれあい活動や環境美化活

動に役立てています。

水生生物調査は、昭和61年から始まりました。毎年、西春日井環境保全担当協議会の協力を得て、大山川の浅瀬に入り、どんな水生生物がいるかを調べています。講師の先生から川に住む生き物についての話を聞き、実際に調べることを通して、大山川の水質が分かります。ヨシノボリ・オイカワなどのきれいな水に住む生き物を発見することもあり、子どもたちは興味津々で、夢中になって活動します。

今回の表彰を受け、子どもたちは、「受賞校としての意識をもって、これからも環境美化活動をがんばりたい」と意気込み、「静かに掃除」の取組を始めました。

これからも、長年受け継がれてきたこれらの活動を通して、身近な環境を大切に、自分たちの住む地域を守っていきこうとする子どもたちを育てていきたいと思っています。



### 私の航空史

## 名航製初の飛行機 十式艦上戦闘機が 飛んだ!(上)

岡野允俊

明治36(1903)年、アメリカでライト兄弟が動力飛行をした時から近代航空史が始まる。

その後、明治43年、わが国では東京の代々木練兵場で徳川、日野両大尉が日本発の飛行に成功した。この辺りから飛行機の話は突如にぎやかになってくる。そして第一次大戦がはじまると不恰好な機織機や凧のような飛行機が、ときに上空から敵情を眺めたり、ときに小さな爆弾を落としたり、ときにはピストルの撃ち合いをしたりするなど、のどかな航空戦のはしりを演じた。以来多くの軍事はやがて空こそ海にとつて代わる活動の舞台になるであろうと予

想した。そして、それら飛行機を造る技術者たちはあくまでも純粋に、技術者としてより速く、より高く、より遠くへ飛べる飛行機を開発することに躍りこなされた。

大正9(1920)年、第一次大戦が終わった翌年、三菱造船は神戸造船所の事業拡張による潜水艦建造のため、名古屋港6号埋立地に58,000坪の工場敷地を買収した。だが結果は深度が浅く潜水艦事業には不向きであることが分かり、大正10年には社名を三菱内燃機と改め、これを自動車および航空機の製造工場にあてることにした。しかし、翌11年、自動車は国内需要が時期尚早であるとしてその製造を中止し、航空機ならびに発動機の製造をはじめたため、実質的にはここに航空機の製造がスタートしたと見るべきであろう。このとき敷地は66,000坪、従業員は200余名であった。